

参加者：159 名

(4) 第 16 回海岸工学講演会

共催：土木学会海岸工学委員会・土木学会関西支部

講演会 (44.12.11~12, 大阪科学技術センター)

題目：55 題

参加者：230 名

懇親会 (44.12.11, 大阪科学技術センター)

参加者：55 名 (内招待関係 4 名)

参加費：1 000 円

見学会 (44.12.64, 神戸埋立, 港内見

学)

参加者：50 名

参加費：500 円

(5) 第 5 回幹事会 (44.12.18, 好文倶楽部) 出席者：岡田幹事長, ほか 14 名。

(6) 幹事交替

(旧) 西川竜三 建設省計画局建設業課建設専門官に転出

(新) 高野浩二 近畿地方建設局企画部技術管理官

(7) 土木学会賞候補支部推薦委員会 (第 1 回) (44.12.18, 好文倶楽部)

出席者：委員 8 名。

(8) 第 2 回事務所建設計画準備委員会 (44.12.5, 好文倶楽部) 出席者：関係者 9 名。

(9) 土木学会昭和 45 年度全国大会実行委員会総務部会 (44.12.5, 好文倶楽部) 出席者：岡田総務部会長, ほか 10 名。

(10) 第 42 回騒音振動委員会 (44.11.25, 好文倶楽部) 出席者：庄司委員長, 畑中幹事長, ほか 8 名。

(11) 騒音振動委員会幹事会 (第 38 回) (44.11.25, 好文倶楽部) 出席者：庄司委員長, 畑中幹事長, ほか 4 名。

編集後記

本号では“衛生工学”についての特集を企画編集いたしました。私自身“衛生工学”という学問がいつ頃から起こったかということについてあまりくわしく知りませんが、今こそ、その重要性を声を大にして叫ばねばならないときであるということ“漠然”とながら認識している一人です。ここで“漠然”という表現を用いたのは、衛生工学が上下水道以外ではどのような分野でどのような貢献をなしているかについてははっきりした識見を持ち合わせていないからです。昨年の会誌 6 月号で“公害と土木技術”に関する特集がございましたが、この公害問題を例に取りましても、“公害”という言葉そのものが漠としたもので、広義に解釈すればあらゆる分野を網羅してしまい、一人の衛生工学技術者がその全分野に通ずることは不可能に近いと思われるためです。したがって、現在、衛生工学の分野で活躍しておられる研究者・技術者が、どのような“境界領域”に対し、どのような取り組み方をしているか、またしようとしているかを理解しなければ、衛生工学の内

容も理解できないのではないかと考えます。このような観点から、本特集では、まず、土木学会衛生工学委員会の委員の方々に、現在の研究分野とその分野での問題点などを披瀝していただいたわけですが、これを契機として会員諸氏の建設的な意見が誌上に反映されることを期待してやみません。

話は変わりますが、科学技術がめまぐるしく進展している今日、最近の会誌の内容からもわかりますように、土木の分野はますます拡大されつつあるように思われます。しかし、いかに立派な枝ぶりの大樹でもその根がしっかり地についていなければ、1 回の台風で根こそぎ倒れてしまうこともありうるわけですので、土木工学の根を丈夫に育てるといふ反省も忘れてはならないように思います。

立春とは名許りでまだまだ厳寒が続きます。万博や年度末を目前にして多忙な日夜をお過しの読者各位のご自愛をお祈り致します。(沼田 淳・記)

土木学会誌“合本ファイル”

土木学会誌を整理していただくために合本ファイル販売しております。1 ファイルで半年分 (6 冊) とじることができます。ご希望の会員は代金に送料を添えお申込み下さい。下記のとおりなるべく一括した方が送料が安くなります。

記

体裁 B 5 判・薄グリーン・クロス装、ピン挿入式 (株・テッサーの製造による)

定価 150 円

送料 1 部 100 円 17 部まで 200 円 8 部まで 160 円 26 部まで 240 円

申込先 土木学会 (東京都新宿区四谷 1 丁目・振替東京 16828)



土木学会誌編集委員

委員長	森 茂											
委員	阿部博俊	加藤正晴	神田創造	菊川哲士	齋田 登	齋藤健二郎	坂本健次					
	沢田健吉	杉山好信	高尾孝二	富田 勇	豊島 修	鳥居敏則	新谷洋二					
	西山友昌	丹羽俊彦	布目恵造	藤重邦夫	矢部正宏	山本弥四郎	吉田良和					
	若木三夫											
	(北海道支部)	(東北支部)	(関東支部)	(中部支部)	(関西支部)	(中国四国支部)	(西部支部)					
	五十嵐日出夫	福田 正	猪瀬二郎	河村三郎	井上頼輝	門田博知	彦坂 熙					
	高橋 毅	沼田 淳	小田純夫	松浦 聖	榎木 亨	藪本健作	永島永起					
委員兼幹事	及川 陽	片山恒雄	渋谷祥夫	横山義雄								

会員の入退会について(昭和 44.12.1~12.31)

入 会	155 名	(正 60	学 94	特1 B 1)
復活	5 名	(正)		
退 会	27 名	(正 24	学 3)	
死 亡	3 名	(正)		
転 格	1 名	学→正		

特別会員の入退会

○ 入 会
昭和 44.12.9 特1 B 西武建設(株) 東京都豊島区南池袋 1-16-15

会 員 現 在 数

名 誉	正会員	学生会員	賛助	特級	特1 A	特1 B	特1 D	特1 C	特2	合 計	前月比(増)
67	22 176	6 342	30	19	16	57	211	357	83	29 358	(130)

(五十音別)

正会員	青 木 光 君	日 本 道 路 公 団	昭和 44.10.28	死去	56 才
同	倉 田 主 税 君	(株)日立製作所相談役	" 44.12.25	"	80 才
同	桜 井 寅 藏 君	建設省中部地方建設局	" 44.10.29	"	67 才

昭和 45 年 2 月 10 日印刷

昭和 45 年 2 月 15 日発行

土木学会誌 第 55 卷 第 2 号

印刷者 大沼正吉 印刷所 株式会社技報堂

東京都港区赤坂 1-3-6

口絵写真印刷者 若林孟夫 口絵製版印刷所 若林原色写真工芸社

東京都港区芝金杉川口町 20 番地

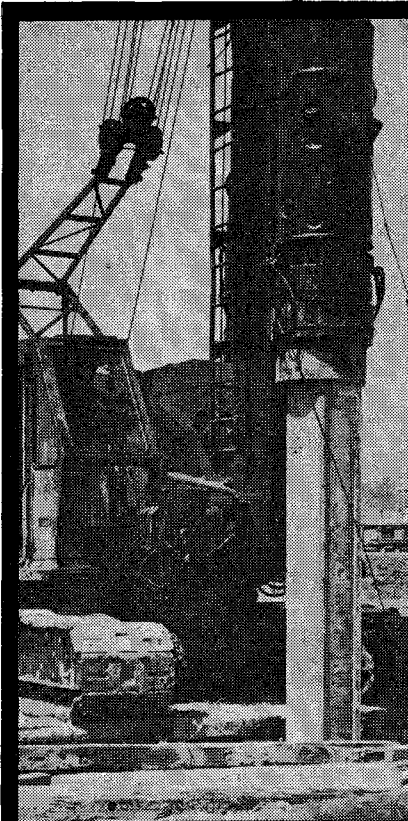
発行者 羽田 巖 発行所 社団法人土木学会

東京都新宿区四谷一丁目

定 価 250 円(送料 30 円)

振替 東京 16828 番

電話 (351) 5130(編集直通)・5138・5139番



SHパイプ ナガイ



- 中実断面故、衝撃抵抗力が大きい。 ■ 支持力が大きい
- 継手が完全である（低減率0） ■ 経済的な基礎設計が可能

長井興農工業株式会社

新潟市川岸町1丁目48の7 電話 0252 (66) 5121 代
 東京 (591) 0904・大阪 (941) 9801・秋田 (33) 0858・仙台 (25) 1512

建設コンサルタント

建設事業の計画
 調査・測量・設計
 施工監理

株式会社 関東復建事務所

代表取締役 近藤 信一

本社 東京都中央区銀座1丁目2番地1号
 電話 東京(03)563-3111 (大代表)
 名古屋事務所 名古屋市中区大清水町5-1-4
 電話 名古屋(052)321-4321

中央高速道路相模湖オフラン